

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	人生の最終段階における医療に関する実態調査			担当部局庁	医政局			作成責任者		
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	平成29年度	担当課室	地域医療計画課			課長：伯野 春彦		
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成19年5月21日医政発第0521011号「終末期医療の決定プロセスに関するガイドラインについて」等					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療に関し、個人の尊厳が重んぜられ、患者の意思がより尊重され、人生の最終段階を穏やかに過ごすことができる環境を整備する。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	人生の最終段階における医療に関する医療機関の取組の実態や、国民・医療従事者のニーズ等を把握するための実態調査の実施及び調査結果を踏まえ今後必要な施策等について議論を行うための有識者検討会の設置。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額(単位：百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求	19		
		補正予算	-	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	0	0	19		
	執行額	-	-	-	-	-	-			
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度	
	人生の最終段階における医療に関する患者の意思決定支援を行う医療機関の増加	人生の最終段階の医療の決定プロセスガイドラインの利用率(目標値「前回調査以上」、5年毎の集計であり、次回は29年度調査実	成果実績	%	19.7	-	-	-	30年度	-
		目標値	%	-	-	-	-	-	19.7	-
		達成度	%	-	-	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	調査の回答率	活動実績	%	-	-	-	-			
		当初見込み	%	-	-	-	-			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	単位当たりコスト=X(執行額)/Y(本調査の回答率)	単位当たりコスト	千円	-	-	-	-			
		計算式	X/Y	-	-	-	-			
平成28・29年度予算内訳(単位：百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	諸謝金	-	0	「新しい日本のための優先課題推進枠」19						
	職員旅費	-	0							
	委員等旅費	-	1							
	庁費	-	1							
	社会保障関係情報化業務	-	17							
	庁費	-								
計	0	19								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること											
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)											
	測定指標	定量的指標					単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
						実績値	-	-	-	-	-	-	
						目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
	本事業を実施することにより、患者の意思を尊重した終末期医療を実現することができ、良質かつ適切な医療を提供することができる。												
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-									
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)					単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
							成果実績	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-			
				達成度	%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)					単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
						成果実績	-	-	-	-	-	-	
						目標値	-	-	-	-	-	-	
						達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													
-													
事業所管部局による点検・改善													
国費投入の必要	項目					評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	社会保障制度改革推進法等において、人生の最終段階の医療体制の整備が求められるなど、ニーズは大きい。国民的議論が必要な施策であり、国費の投入が必要。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	国が今後の施策の方針等を示すための事業であり、国が実施すべき事業である。						
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	社会保障制度改革推進法等に沿った重要な施策であり、優先度は高い。						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					-							
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。					無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。					-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					-							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					-							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					-							
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-							
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					-							
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					-							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					-							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					-							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					-							
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					-							
	所管府省・部局名		事業番号		事業名								
	-		-		-								
点検・改善結果	点検結果	-											
	改善の方向性	-											

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

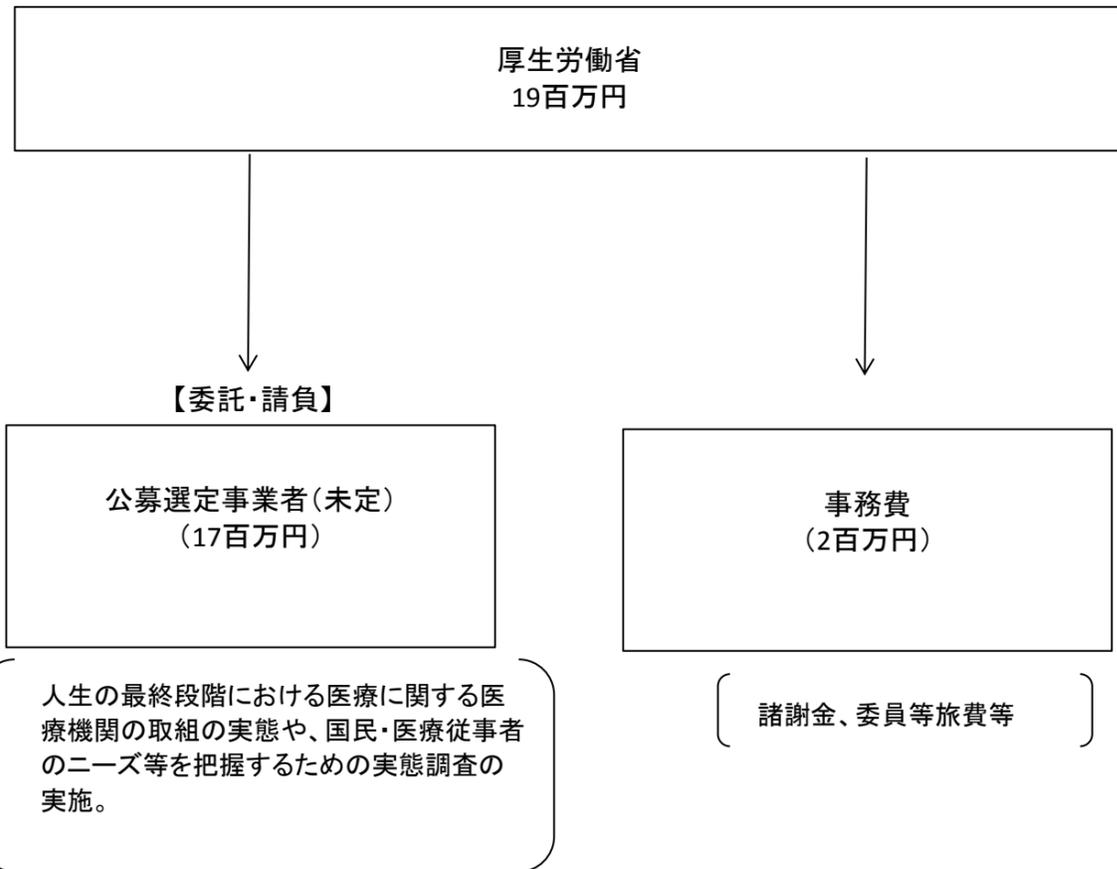
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※執行実績がないため、平成29年度執行のイメージ



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)

